



絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通して考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。  
あなたはどんな空間を感じますか……

- 2005年に九州郵政局発行の「ゆうせい九州」掲載のために描いた作品です。。

- ・ 作品のタイトルは何でしょうか。

- ・ 女の子がチョウチョウに手紙を渡しているのか、またはチョウチョウから受け取っているのか。女の子とチョウチョウの手紙交換なのか、チョウチョウは配達する役目なのか… 想像して下さい。  
この絵の中の短い物語を考えて見ましょう。



- ある絵本のワンシーンです。

- ・ 何という絵本でしょうか。

- ・ きれいなものやかわいいものを見ると、うれしくなったり楽しくなります。にこにこ笑顔になるものです。  
あなたは何を見ると、笑顔になりますか？



- ・ 葉祥明はこの絵本を描くにあたり次のように言っています。  
『確かに、神は木の葉の一枚散るのをご存知。宇宙というか神というか、その中では全てがひとつで、全てが互いに影響し合う。だからこそ、人は互いに愛し合う必要があるんだと、この絵本を通じて、子どもたちにこの黄金律が伝われば幸いです。』

●タイトル「はちぞうと仲間たち」という作品です。



・犬のジェイクに続く、葉祥明さんのオリジナルキャラクター『はちぞう』の絵本に登場する絵本のワンシーンです。何という絵本でしょうか。

・この作品には絵本に出てくる絶滅のおそれのある生き物が描かれています。  
アフリカゾウ以外に一列に並んで描かれている、その生き物たちの名前はなんでしょうか。

※『はちぞう』は小さな鳥、ハチドリの卵から生まれましたが、姿は大きな象によく似ています。虹色の羽がある、他には似た子がいない『はちぞう』は、いつも「自分が誰で何のために生きているか」を考えています。  
そんなはちぞうが、旅をしていろいろな生き物と出会います。。

・あなたは『はちぞう』が何故、鳥の卵から象の姿をして生まれてきたと思いますか？

・絵本に出てくる動物や昆虫、地球上にはたくさんの生き物が生活しています。  
この地球の長い歴史の中では、これまで数え切れないほどたくさんの生き物があらわれて、そして消えていきました。今いる生き物たちもいつかは消えていく。  
だからこそ、人間は全ての生き物を愛し、その幸せを願わなくてはと思います。  
はちぞうと一緒に、命の大切さをみんなも考えてくれたら嬉しいと、葉祥明さんからのメッセージです。

作品を深く感じよう！